

平成30年度

事業報告書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

社会福祉法人 紀の川市社会福祉協議会

I 法人運営部門

会務の円滑な運営を図るとともに、関係団体との連携を深め活動基盤の強化に努めた。

地域福祉事業の貴重な財源となる社協会費については、自治区役員や福祉委員に協力をいただき、社協への理解と会費協力依頼を行った。また、企業を訪問し、更なる会員増強に努めた。

1. 理事会の開催

第1回 理事会

期日 平成30年6月1日（金）

場所 桃山保健福祉センター2階 ピーチホール

出席 理事11名 監事2名

- 内容
- ① 補欠評議員候補者の推薦について
 - ② 評議員選任・解任委員会委員の欠員に伴う委員の選任について
 - ③ 平成29年度事業報告
 - ④ 平成29年度決算
 - ⑤ 平成30年度定時評議員会の招集
 - ⑥ 会長の業務報告

第2回 理事会

期日 平成31年3月6日（水）

場所 桃山保健福祉センター2階 ピーチホール

出席 理事13名 監事1名

- 内容
- ① 平成30年度補正予算（第1号）
 - ② 平成31年度事業計画
 - ③ 平成31年度予算
 - ④ 利益相反取引及び双方代理となる事項の承認
 - ⑤ 平成30年度第2回評議員会の招集
 - ⑥ 会長の業務報告

2. 評議員会の開催

定時 評議員会

期日 平成30年6月27日（水）

場所 桃山保健福祉センター2階 ピーチホール

出席 評議員17名 会長 監事2名

- 内容
- ① 平成29年度事業報告
 - ② 平成29年度決算
 - ③ 補欠理事の選任

第2回 評議員会

- 期日 平成31年3月27日(水)
場所 桃山保健福祉センター2階 ピーチホール
出席 評議員17名 会長
内容 ① 平成30年度補正予算(第1号)
② 平成31年度事業計画
③ 平成31年度予算

3. 評議員選任・解任委員会の開催

- 期日 平成30年6月7日(木)
場所 桃山保健福祉センター1階 相談室
出席 評議員選任・解任委員5名
内容 ① 委員長の選任
② 補欠評議員の選任

4. 監事会の開催

- 期日 平成30年5月17日(木)
場所 桃山保健福祉センター1階 相談室
出席 監事2名
内容 ① 平成29年度事業報告
② 平成29年度決算

◇社協会員の募集と会費の徴収 (金額:円)

		一般会費	賛助会費	団体会費	特別会費	合計
本年度	口数	12,770	8	2	88	12,868
	金額	6,384,800	16,000	20,000	440,000	6,860,800
前年度	金額	6,622,750	18,000	20,000	460,000	7,120,750

◇寄附金 (金額:円)

	件数	金額
本年度	65	911,169
前年度	80	1,351,250

II 地域福祉推進部門

「ともに支え合い、みんなでつくる福祉のまち」を理念とし以下の事業を行った。

基本目標 1 相談・情報提供・権利擁護の充実

地域住民の方々が、安心して日常生活が送れるようサービスの利用援助や地域での生活支援に向けた相談支援活動、情報提供、連絡調整を行った。

1. 総合相談事業

(1) 心配ごと相談事業

開設日数：50日 相談員数：36名 相談者数：37名

相談内容	生計	年金	住宅	家族	離婚	医療	精神保健	人権・法律	財産	事故	障害児者福祉	老人福祉	苦情	その他	合計
相談件数	5	0	6	5	1	2	1	0	6	1	0	0	3	10	40

(2) 専門相談事業

① 弁護士相談 開設日数：12日 相談者数：73名

支所名	打田	粉河	那賀	桃山	貴志川	合計
相談件数	20	11	11	11	20	73

② 司法書士相談 開設日数：12日 相談者数：24名

支所名	打田	粉河	那賀	桃山	貴志川	合計
相談件数	4	4	3	6	7	24

(3) 研修会の開催

心配ごと相談員研修会開催

期日 平成30年5月18日（金）

場所 桃山保健福祉センター

内容 「聴くって どのように関わるの？」

講師 ボランティアグループアップル

代表 岡 育子 氏

2. 広報啓発事業

(1) 社協広報紙「福祉きのかわ」の発行（毎月1回発行 市内全戸へ配布）

(2) 声の広報発行

内容 「福祉きのかわ」「広報紀の川」をカセットテープやCDに録音し、年間延べ60件の必要な方に貸出した。

(3) 社協ホームページの運用 アドレス (<http://kinokawashishakyo.jp>)

3. リサイクル掲示板事業

資源の有効活用と消費生活の合理化を図ることを目的に実施した。

譲りたい	譲ってください	譲渡成立
3件	5件	3件

4. 権利擁護事業

(1) 事業実績

・専門員数：2名 生活支援員数：18名 (法人後見は除く)

①福祉サービス利用援助事業

項目	本年度	前年度
相談受付	16	12
未契約者への相談	43	42
生活支援員の訪問	561	511
専門員活動としての訪問等	1012	944
解約	4	6
新規契約	3	3
年度末契約実数	30	31

②日常金銭管理等事業 ※平成30年度から実施

項目	本年度
相談受付	4
未契約者への相談	0
生活支援員の訪問	5
専門員活動としての訪問等	36
解約	1
新規契約	3
年度末契約実数	2

③法人後見 実績なし

(2) 研修会等の参加

研修会名	期日/場所	参加人数
精神保険福祉新任者研修会	平成30年6月6日(水) 岩出保健所	2名
福祉サービス利用援助事業 新任生活支援員研修会	平成30年6月22日(金) 和歌山県勤労福祉会館プラザホープ	3名
日常生活自立支援事業 「専門員実践力強化研修会Ⅰ」	平成30年7月17日(火)～18日(水) 全国社会福祉協議会灘尾ホール	1名
法人後見支援員フォローアップ研修	平成30年8月31日(金) 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛	2名
成年後見制度活用セミナー	平成30年11月15日(木) 県勤労福祉会館プラザホープ	2名
第1回福祉サービス利用援助事業 専門員研修会	平成30年11月27日(火) 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛	2名
成年後見制度利用促進に向けた体制整備 研修会	平成30年11月29日(木) 和歌山県民文化会館	2名

家事関係機関との連絡協議会	平成30年12月17日(月) 和歌山地方家庭裁判所	2名
成年後見制度促進研修会及び 成年後見制度市町村社協担当者連絡会議	平成30年12月19日(水) 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛	2名
第2回福祉サービス利用援助事業専門員研 修会 兼 福祉サービス利用援助事業生活 支援員継続研修会	平成31年2月27日(水) 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛	7名

5. 地域福祉活動計画策定に係るワークショップの開催

期日 平成30年4月3日(火)

場所 桃山保健福祉センター2階 ピーチホール

出席 地域福祉推進委員31名

内容 地域の現状や課題についてのワークショップ

6. 地域福祉活動計画策定委員会の開催

期日 平成30年5月1日(火)

場所 桃山保健福祉センター2階 ピーチホール

出席 策定委員12名

内容 素案の検討

期日 平成30年5月21日(月)

場所 桃山保健福祉センター2階 ピーチホール

出席 策定委員10名

内容 素案の検討

基本目標 2 日常的な見守り・支え合い活動の推進

誰もが地域の中で孤立することなく安心して生活することができるよう、地域の絆の再構築を目指し、交流会や食事サービス、ふれあい・いきいきサロンなどを行った。

1. 小地域活動・福祉活動支援

(1) ふれあい・いきいきサロン事業

閉じこもりがちな高齢者の地域交流の場として、ボランティアの企画運営により小地域の単位で開催した。

平成30年度には、打田1ヶ所・粉河1ヶ所で新規サロンが設置された。

支所名	打田	粉河	那賀	桃山	貴志川	合計
設置数	15	12	15	12	9	63
開催回数	146	131	56	100	65	498
延参加人数	2,541	2,052	1,148	1,898	1,446	9,085

◎「ふれあい・いきいきサロン」代表者会議

期日 平成31年2月22日（金）

場所 桃山保健福祉センター ピーチホール

参加 49サロン

内容 説明 助成金やサロンバス運行決定等について説明を行った。

講義 「おたがいさまの街づくり（体制整備事業）」

情報交換会 「あなたのサロンのちょっとええ話きかせてよ」

「うちのサロンの悩みきいてよ」

(2) 見守りネットワーク推進事業

70歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、地域住民の「ゆうあい活動」として誕生日ハガキや、年賀状を送るなどの見守り活動を実施した。

(送付数 4, 149枚)

(3) 高齢者見守り事業

一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯に対し、見守り、安否確認等を実施することにより、高齢者の孤独感の解消及び安心感の提供を図った。

項目	本年度	前年度
年間利用者数	32	24
新規利用者数	10	10
利用中止数	6	4
延べ訪問回数	950	999

(4) 電話訪問（粉河支所）

毎月1回、ボランティアによる「一人暮らし高齢者宅」への電話訪問を実施した。また、聴覚に障がいのある方にはFAXで安否の確認を行った。

電話訪問時に体調不良や相談ごとがあった方には、民生委員や関係機関等と連携し対応した。

訪問件数 853 件

2. 地域福祉活動の推進

(1) ふれあい交流事業の開催

ふれあい夏まつり

期日 平成30年8月4日(土)

場所 紀の川市役所本庁前駐車場

参加 1,592名(内子ども986名)

内容 保育園児の遊戯、高校吹奏楽部の演奏、高齢者の指導による昔遊びやミニグラウンドゴルフ、民生委員児童委員協議会、ボランティアや各種団体による模擬店を行うことで地域住民が集い共に楽しいひとときを過ごし、地域住民の交流を図った。

3. 食事サービス事業

(1) 配食サービスの実施

月2回実施 延べ配食数 11,410 食 (単位:食)

支所名	打田	粉河	那賀	桃山	貴志川	合計
本年度	3,405	3,026	1,530	742	2,707	11,410
前年度	3,672	3,149	1,647	835	2,981	12,284

食事サービス包装紙の作成

保育所(園)、幼稚園、小学校、中学校に協力いただき、包装紙を作成した。

(2) お楽しみ食事会の開催

① 期日 平成30年10月12日(金)

場所 粉河ふるさとセンター

参加 51名・保育園児26名・ボランティア28名・民生委員5名

内容 ボランティア手作りのちらし寿司とフルーツを囲み、ボランティアによるフラダンスショー、園児の楽器演奏とふれあい遊び等の催しを楽しみながら交流を深めた。

② 期日 平成30年10月24日(水)

場所 古和田会館

参加 64名・保育園児42名・ボランティア23名・民生委員15名・地域福祉推進委員5名

内容 参加者全員で食事サービスのお弁当を囲み、園児のお遊戯や民生委員の踊りと寸劇、ボランティアグループの舞踊、フラダンス、銭太鼓等の催しを楽しみながら交流を深めた。

③ 期日 平成30年12月13日(木)

場所 那賀総合センター

参加 35名・保育園児45名・ボランティア32名・民生委員1名

内容 高齢者と保育園児がつどい、園児の劇や歌、ボランティアによる防災クイズや、朗読グループひばりによる劇を楽しみながら交流を深めた。

- ④ 期日 平成30年12月20日(木)
 場所 桃山保健福祉センター
 参加 34名・ボランティア44名
 内容 保育園児によるお遊戯、ボランティアグループによる大正琴や、朗読グループさわらびによる紙芝居等を楽しみながら交流を深めた。
- ⑤ 期日 平成31年3月7日(木)
 場所 中貴志コミュニティセンター
 参加 63名・ボランティア48名・地域福祉推進委員1名
 内容 お弁当を囲み、ボランティアによるダンスやクイズ・ビンゴ大会、押し花はがき作成体験などを楽しみながら交流を深めた。

4. 生活福祉資金貸付事業

安心した生活を送ることができるよう、低所得者世帯、障がい者世帯、又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と相談支援を行うことにより、経済的自立・社会参加の促進を図った。

	本年度	前年度	比較
相談件数	42	49	△7
貸付決定	0	2	△2

生活福祉資金貸付調査委員会の開催

- 第1回 平成30年 4月26日(木)
 第2回 平成30年10月25日(木)
 第3回 平成31年 3月20日(水)

5. 用具貸出事業

車椅子、特殊寝台等を貸出した。

延べ貸出件数 122件 (単位:件)

物品名	打田	粉河	那賀	桃山	貴志川	合計
車椅子	11	4	15	32	18	80
特殊寝台	1	0	0	1	0	2
杖・四点杖	0	0	0	1	0	1
歩行器	0	0	0	1	0	1
高齢者疑似体験セット	1	0	0	5	0	6
輪投げ	7	10	0	15	0	32
合計	20	14	15	55	18	122

6. 独居高齢者防火診断

火災予防週間に、消防署に協力し、一人暮らし高齢者宅58軒の訪問を行った。

7. マイクロバスの運行

	回数
本年度	89
前年度	81

8. チャリティー事業

(1) 愛の日事業

① 期日 平成30年11月3日(土)～11月4日(日)

場所 打田生涯学習センター 屋外

内容 市文化祭に母子寡婦福祉連合会打田支部と共催で模擬店を出店した。

② 期日 平成30年11月3日(土)

場所 那賀総合センター 屋外

内容 市文化祭にボランティア連絡協議会那賀支部と共催で模擬店を出店した。

(2) 産業まつり事業

期日 平成30年11月11日(日)

場所 貴志川体育館駐車場

内容 市産業まつりに貴志川地区福祉委員会と共催で模擬店を出店した。

9. 紀の川市戦没者追悼式

先の大戦において亡くなられた方々を追悼するために実施した。

期日 平成30年9月7日(金)

場所 粉河ふるさとセンター 大ホール

参列者 251名(内、遺族220名)

10. 紀の川市生活支援体制整備事業

紀の川市における高齢者の生活支援・介護予防等サービスの体制整備に向けた取り組みを推進していくことを目的に、生活支援コーディネーターを設置し住民主体の助け合い活動や多様な生活支援サービスを進めた。

(1) 協議体会議の開催 11回

(2) アンケートの実施(ニーズ調査)

調査数 サロン42件 550名 ・ てくてく体操42件 440名

基本目標 3 地域の担い手づくり支援

サマーボランティアスクールや各種講座を開催し、ボランティアの育成、養成を行い、中学生や小学生には福祉体験をおし、福祉教育の推進を図った。

1. ボランティアの登録

団体 59グループ 1, 214名

個人登録者 60名

2. 福祉教育の推進

(1) 2019「サマーボランティアスクール」「サマーチャレンジ」

夏休みの期間をボランティア活動推進の好機ととらえ、小中高生を中心に児童・生徒等が福祉について学びボランティア活動へ参加するきっかけづくりを目的に開催した。

「サマーボランティアスクール」全体会ではボランティアについて、あいサポート（障害者理解）、車いすの使い方を当事者から学んだ。後日に高齢者施設・障害者施設でボランティアとして一日施設体験を行った。

「サマーチャレンジ」社協食事サービス事業のボランティアが担っている調理の手伝いと、民生委員や配食ボランティアと一緒に弁当配りを行った。

内容 対象	サマーボランティアスクール
中学生	14
高校生	2
合計	16

内容 対象	サマーチャレンジ
小学生	18

(2) 福祉教育への取り組み

高齢者や障がい者に対する理解を深め、助け合い支え合いの大切さをわかってもらえるように、車椅子・アイマスク・高齢者疑似体験や福祉についての授業をおこなった。

学校名	期日	学年	人数
打田中学校	平成30年 7月 3日 (火)	1年	137名
川原小学校	平成30年 9月21日 (金)	4年	16名
安楽川小学校	平成30年10月 9日 (火)	4年	39名
竜門小学校	平成30年10月30日 (火)	4年	11名
麻生津小学校	平成30年11月 9日 (金)	4年	12名
丸栖小学校	平成30年11月 2日 (金)	4年	23名
	平成30年11月13日 (火)		
田中小学校	平成30年11月19日 (月)	4年	77名
池田小学校	平成31年 1月15日 (火)	4年	76名
	平成31年 1月25日 (金)		
	平成31年 2月 7日 (木)		
	平成31年 2月15日 (金)		
貴志川中学校	平成31年 1月18日 (金)	1年	161名

基本目標 4 災害に備えた取り組みの推進

福祉防災ボランティア会の協力を得、平成30年7月豪雨災害支援として災害ボランティアバスの運行及び紀の川市から要請を受け、台風21号風水害被害の復旧支援活動を行った。また、情報の共有・技術の習得を目的に、訓練と研修会を開催した。

1. 災害ボランティアセンター設置運営訓練・支援者研修会

期日 平成31年2月2日(土)

場所 桃山保健福祉センター

参加 102名(福祉防災ボランティア74名・一般12名・社協職員16名)

内容 倉敷市活動及び紀の川市内災害支援活動発表、12班に分かれてグループワークDIDを行った。

2. 平成30年7月豪雨におけるボランティアバスの運行

運行日 8月20日(月)、8月27日(月)、9月3日(月)

派遣先 岡山県倉敷市真備町

派遣人数 延べ 49名

3. 台風21号災害における被災者支援

ニーズ件数 6件

派遣日 9月3日～10月9日の間

派遣人数 延べ 67名

◇家族介護者交流事業

(1) 介護者教室

家庭で介護に携わっている家族を対象に、日頃の体験を通じた悩みを相互に交換し、孤独感の解消や精神ケアを図るとともに、在宅生活の継続及び向上を計ることを目的に開催した。また、介護者サロンスタッフの参加を得、傾聴の向上、介護知識について学ぶ機会とした。

【第1回】

期日 平成30年12月11日(火)

場所 桃山保健福祉センター 2階 保健指導室

参加 37名(内10名介護者サロンボランティア)

内容 「介護が楽になるコツ」

講師 坂口内科

院長 坂口 健太郎 氏

【第2回】

期日 平成31年1月22日(火)

場所 桃山保健福祉センター 2階 保健指導室

参加 21名(内7名介護者サロンボランティア)

内容 「介護の私の失敗談もしくは心配していること」

アドバイザー 坂口内科

院長 坂口 健太郎 氏

(2) ボランティア養成講座

ボランティアを始めたい、また違うボランティア活動もしたいと考えている方々に絵手紙作りを通してボランティア活動に興味を持っていただき、見守りハガキ郵送活動に繋げていくことを目的に開催した。

〈第1回〉

期日 平成31年2月4日(月)
場所 貴志川保健福祉センター 2階 研修室
参加 3名
内容 絵手紙教室
講師 北山 章子 氏

〈第2回〉

期日 平成31年2月5日(火)
場所 打田生涯学習センター 学習室
参加 5名
内容 絵手紙教室
講師 北山 章子 氏

(3) 介護者サロン

在宅介護者の交流の場を確保し、日常の悩みや体験を語り合い交流を深め、日頃の労苦を癒す場を設けた。

・いちごカフェ開設

開設日 毎月第2水曜日 午前10時～午後3時
場 所 貴志川保健福祉センター
利用者 2名

・とんまか喫茶開設

開設日 毎月第3水曜日 午前10時～午後3時
場 所 社協粉河支所
利用者 34名

◇紀の川市介護予防事業

介護予防拠点施設「蛍の里」において、高齢者や障がい者を対象に健康の保持と生きがいづくりを支援するサービスを行った。

	本年度	前年度	比較
延べ利用者数	1,191	1,382	△ 191

事業名	実施日	場 所	参加人数
交流会	平成30年7月20日	蛍の里	30
なべしき作り月間	平成30年10月	蛍の里	30
Xmasツリー作り月間	平成30年12月	蛍の里	30
大衆演劇ツアー	平成30年12月14日	がんこ座	23
筋力トレーニング	毎週火曜日実施	蛍の里	延べ257

◇福祉団体活動支援

社会福祉協議会に事務局を置く福祉団体活動の支援を行なった。

老人クラブ連合会

遺族会

母子寡婦福祉連合会

ボランティア連絡協議会

福祉防災ボランティア会

身体障害者連盟

障害児者父母の会

◇共同募金会への協力

1. 赤い羽根共同募金運動

10月1日から翌年3月31日の間、市内全域で募金運動を実施した。

戸別募金	学校募金	職域募金	街頭募金	イベント募金	他の募金	合計
4,061,928	130,009	328,568	102,329	20,535	53,098	4,696,467

和歌山県共同募金会から、1,671,524円の配分を受け本会の地域福祉事業（ふれあい交流事業・広報紙発行事業）等で活用した。

2. 歳末たすけあい運動

	在宅ねたき高齢者	生活保護受給者	準要保護児童・生徒	災害被災世帯	合計
件数	116	269	498	12	895
配分金額	348,000	1,688,000	1,494,000	140,000	3,670,000

Ⅲ 在宅福祉サービス部門

◇介護保険事業

1. 居宅介護支援事業

居宅において日常生活を営むために必要な保健・医療、福祉サービスなどを適切に利用できるよう、要介護者や家族の依頼を受けて、その心身の状況や置かれている環境、要介護者や家族の希望を勘案して、居宅サービス計画を作成するとともに、その居宅サービス計画に基づき指定居宅サービス事業者等と連絡調整を行った。

給付管理件数	要 介 護						介護予防
	1	2	3	4	5	計	
本年度	398	510	212	188	141	1,449	104
前年度	403	542	388	217	95	1,645	119
比較	△ 5	△ 32	△ 176	△ 29	46	△ 196	△ 15

2. 訪問介護事業

介護が必要な方に対し、居宅でその方の有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄及び食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行った。

延べ利用者数	要 介 護						介 護 予 防			
	1	2	3	4	5	計	要支援1	要支援2	事業対象者	計
本年度	245	195	110	91	77	718	197	412	25	634
前年度	233	282	204	118	60	897	281	545	19	845
比較	12	△ 87	△ 94	△ 27	17	△ 179	△ 84	△ 133	6	△ 211

延べ訪問回数	介護給付サービス				予防給付サービス
	生活援助	身体介護	身体・生活	計	
本年度	4,872	4,561	3,554	12,987	4,355
前年度	6,319	4,607	3,875	14,801	5,479
比較	△ 1,447	△ 46	△ 321	△ 1,814	△ 1,124

3. 介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービスA）

基本チェックリストの基準に該当した者を対象に、利用者の自立に向けた生活支援を行った。

	本年度	前年度	比較
延べ利用者数	87	24	63
訪問回数	275	94	181

4. 通所介護事業

在宅で要介護状態にある利用者に対し、可能な限り自宅で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の援助や機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤独感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的、精神的負担の軽減を図った。

延べ利用回数	要 介 護						介 護 予 防		
	1	2	3	4	5	計	要支援1	要支援2	計
本年度	824	478	425	393	23	2,143	167	265	432
前年度	954	590	535	465	0	2,544	208	344	552
比 較	△ 130	△ 112	△ 110	△ 72	23	△ 401	△ 41	△ 79	△ 120

◇障害福祉サービス事業

1. 居宅介護等事業

利用者が居宅において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう利用者の身体その他の状況及び環境に応じて、家事や相談など生活全般にかかわる援助や外出時における移動中の介護を行った。

延べ利用者数 214名

訪問回数	家事援助	身体介護	通院介助	同行援護	計
本年度	2,750	748	12	7	3,517
前年度	4,234	987	17	7	5,245
比 較	△ 1,484	△ 239	△ 5	0	△ 1,728

2. 特定相談支援事業

障害のある方等からの相談に応じ、情報の提供や、障害福祉サービス利用計画の作成を行った。

契約件数 50件

◇受託事業

1. 要介護認定訪問調査

自宅等を訪問し、心身の状態や日常の生活、家族・居住環境などについて聞き取り調査を行った。

	本年度	前年度	比較
調 査 件 数	16	11	5

2. 紀の川市障害者地域生活支援事業（移動支援事業）

利用者が居宅において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう利用者の外出時における移動中の介護を行った。

利用者数 延べ 65 名

訪問回数	移動介護	
	身体介護あり	身体介護なし
本年度	596	62
前年度	608	60
比較	△ 12	2

3. 紀の川市障害者地域生活支援事業（障害者日中一時デイサービス事業）

障がい者に機能訓練や創作的活動等のサービスを提供することによって、自立と社会参加の促進を図った。

	本年度	前年度	比較
延べ利用者数	58	285	△ 227

◇その他事業

1. 紀の川市ほほえみサービス

介護保険制度上、提供することができない援助を、本会利用者に限り自費サービスとして行った。

	本年度	前年度	比較
延べ利用者数	39	49	△ 10
訪問回数	179	167	12